SBIラップ Oliveコンサルティングコース（愛称：Oliveラップ）

ホワイトペーパー

1. はじめに

「SBIラップ Oliveコンサルティングコース（愛称：Oliveラップ）」（以下、「Oliveラップ」と表示）は、10の資産クラスに分散投資を行い、戦略的資産配分（SAA）に基づく長期運用と、市場局面に応じた資産配分の調整（戦術的資産配分：TAA）を組み合わせることで、中長期的な資産の成長を目指す投資一任サービスです。

Oliveラップの主な特徴としては以下が挙げられます。

- 資産配分比率は、SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社（以下、「SGIC」と表示）からの投資助言を参考に、株式会社FOLIO（以下、「FOLIO」と表示）が決定します。
- SGICからの助言は、各資産クラスの長期的な期待リターン・想定リスク・相関係数に基づくSAAと市場局面ごとの資産配分調整であるTAA、SGICが独自に開発したGW リスクアペタイト・インデックス(RAI)※（以下、「GW RAI」と表示）等の定量モデルを用いた市場局面判定に基づきます。

  ※GW RAI：世界の金融市場の動向をもとに、市場参加者のリスク選考度（リスクアペタイト）を指数化した指標
- FOLIOはSGICからの助言内容などを参考情報とし、運用戦略等に照らし合わせ、その妥当性を検証した上で最終的な配分比率を決定します。また、お客様のポートフォリオを常にモニタリングし、市場の動向に合わせたメンテナンスを適宜行います。
- お客様のリスク許容度に応じた5つの運用スタイル（安定・やや安定・中庸・やや積極・積極）をご用意しており、各スタイルに応じた目標リスク水準での運用を行います。
- 一連の運用フローにおいて、SAA・TAAの策定、市場局面判定はいずれも定量的な手法に基づき、一貫性のある運用を実現します。
- 投資対象ファンドは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社（以下、「SMDAM」と表示）が運用する10の各投資対象資産のベンチマークに連動する投資成果を目指すファンドです。

2. 投資対象資産クラス・投資対象ファンドの選定

Oliveラップでは、以下に記載する株式・債券・オルタナティブの10の資産クラスにグローバル分散投資を行います。各資産クラスは、リスク・リターン特性や相関関係を考慮した上で選定されており、分散効果の高いポートフォリオの構築を目指します。

資産クラス		説明
株式	日本株式	伝統的なアセットであり、日本の経済成長によるリターン獲得が期待されます。また、円建て資産であるため為替リスクがなく、インフレへの対応も期待されます。
	先進国株式	伝統的なアセットであり、海外先進国の経済成長によるリターン獲得が期待され、長期的なリターン獲得の主な源泉として位置付けています。また、インフレへの対応も期待されます。
	新興国株式	伝統的なアセットであり、高い経済成長が見込まれる新興国からのリターン獲得が期待されます。また、先進国株式との分散効果も期待されます。
債券	日本債券	伝統的なアセットであり、株式と異なるリターン源泉により、株式との低相関による分散効果が期待されます。また、円建て資産であるため為替リスクがなく、ポートフォリオの安定化に寄与します。
	先進国債券（為替ヘッジなし）	伝統的なアセットであり、主として海外先進国の国債へ投資します。株式に比べて安定した価格推移が期待されます。
	先進国債券（為替ヘッジあり）	伝統的なアセットであり、主として海外先進国の国債へ投資します。為替ヘッジにより為替変動の影響を抑えた、より安定した価格推移が期待されます。
	新興国債券	伝統的なアセットであり、主として米ドル建ての新興国公社債に投資することで、先進国債券と比較して高い利回りによる高いリターンが期待されます。また、先進国資産との分散効果も期待されます。
オルタナティブ	Jリート	主として日本の取引所に上場している不動産投資信託に投資します。インフレへの対応や、株式・債券との分散効果が期待されます。
	世界リート	主として日本を除く世界各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資します。インフレへの対応や、株式・債券との分散効果が期待されます。
	金	金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資します。インフレへの対応や、地政学リスク・金融市場の混乱時のリスクヘッジとしての効果が期待されます。

投資対象ファンドは、運用戦略を実現するため、各資産クラスで運用戦略構築時に使用した指数

をベンチマークとする指数連動型ファンドの中から、以下のような観点で選定しています。

- 純資産総額　純資産総額の小さなファンドでは償還リスクがあり、運用会社が運用を終了し、清算されてしまうリスクがあります。その場合、望まないタイミングで損益が一旦確定するなど、予期せぬ投資効率の悪化が懸念されるため、マザーファンドを含めた純資産総額が一定程度あるファンドに投資します。
- パフォーマンス　ベンチマークからの乖離が小さなファンドに投資します。
- 低コスト　コストが低いファンドを投資対象としています。

3. 運用スタイルの選定

Oliveラップでは、お客様のリスク許容度や投資目的に応じて、以下の5つの運用スタイルをご用意しています。各スタイルの想定リスク水準は現時点では下表の通りです。なお、資産クラス別の想定リスク水準の動向等によって、将来変更する可能性があります。

運用スタイル	想定リスク（年率）	運用の特徴
安定	7%	5 つの運用スタイルのうち、最もリスクを抑えた運用スタイルです。債券などを中心に値動きをできるだけ抑えながら、無理のない範囲で資産の成長を目指す運用スタイルです。
やや安定	8.5%	中庸よりもややリスクを抑え、堅実にリターン獲得を目指します。中庸よりも債券等の比率を高めることで、値動きをある程度抑えながら、長期でじっくりと資産の成長を目指す運用スタイルです。
中庸	10%	リスクとリターンのバランスを取りながら、長期の資産成長を目指す運用スタイルです。5 つの運用スタイルの中で、中間的なリスク・リターンを目指す運用スタイルです。
やや積極	11.5%	中庸よりもややリスクをとり、比較的高いリターン獲得を目指します。中庸よりも株式等の比率を高めることで、高いリターンを目指す運用スタイルです。
積極	13%	5 つの運用スタイルのうち、最もリスクを取る運用スタイルです。株式等を多く組み入れることで、短期的な上下の値動きを許容し、長期で高リターンを追求することを目指す運用スタイルです。

4. 資産配分の考え方

以下は、FOLIOが資産配分を決定する際に参考とするSGICから受ける投資助言（資産配分）について記したものになります。

4.1. 戦略的資産配分（SAA）

戦略的資産配分（SAA）とは、中長期的な投資目標の達成に向けて、各資産クラスの基本的な配分比率を定めるものです。毎年６月末基準で各資産クラスの期待リターン・想定リスク・相関係数を市場データ等から推計し、それらを用いて平均分散アプローチによる効用最大化計算を行い、効率的フロンティア上から各運用スタイルの想定リスク水準に対応する資産配分を選択することで、SAAを決定します。このSAAは原則年1回更新され、長期的な市場環境の変化を反映した資産配分となります。

4.2. 戦術的資産配分（TAA）による資産配分調整

Oliveラップでは、SAAに基づく長期的視点による資産配分に加え、短中期的な市場環境の変化へ対応するための資産配分調整をTAAとして反映します。このTAAは、市場のリスク選好度合いを３つの局面（「保守的」・「基本」・「積極的」）に分け、それぞれの局面に応じて資産配分を調整することで、市場の上昇・下落に対応することを目指しています。原則として、TAAは年1回更新します。

また、市場のリスク選好度合いの計測には、SGICが独自開発したGW RAIおよびニュース指数※を用い、定量的に市場の局面を判定します。以下は、市場局面ごとの資産配分の方針を示したものになります。

※ニュース指数：自然言語処理の技術を使用し、ニュース記事を「ポジティブ」、「ニュートラル」、「ネガティブ」で評価したセンチメント指数

市場局面	資産配分の方針
保守的	市場のリスク選好度合いが低下していると判断する局面です。基本に対して株式等のリスク資産の比率を引き下げ、ポートフォリオのリスクを抑えます。
基本	市場環境が概ね安定していると判断される局面です。各運用スタイルの SAA に基づいた標準的な資産配分比率で運用を行います。
積極的	市場のリスク選好度合いが高まっていると判断する局面です。基本に対して株式等のリスク資産の比率を引き上げ、資産成長の機会を積極的に追求します。

5. リバランス

Oliveラップでは最適な資産配分を維持するため、以下のタイミングでリバランスを実施します。

- 定期リバランス：原則として年1回、SAAの更新に合わせてリバランスを実施します。また、

市場動向によっては、下記の市場局面変更時リバランスと同時に行います。

- 市場局面変更時リバランス：市場局面が変更された場合（「基本」から「保守的」への変更等）、TAAに基づくリバランスを実施します。これにより、市場環境の変化に対応することを目指します。
- 資産配分調整リバランス：上記２つのリバランスが一定期間行われない場合、市場の変動により想定している資産配分から乖離が生じる可能性があります。そのため、前回リバランスより一定期間経過した際に資産配分を調整するリバランスを実施します。

6. 投資委員会

FOLIOでは、Oliveラップの投資対象ファンドおよび運用アルゴリズムの内容を決定する投資委員会を設置しています。投資委員会では、客観的かつ専門的な観点から想定した運用がなされているかのモニタリングを行い、必要に応じて、投資対象ファンドの入れ替えおよび資産配分戦略の改善を決定します。なお、Oliveラップでは、投資助言を受けているSGICおよび、投資対象ファンドの運用を行っているSMDAMに対して提案などを行う場合があります。

7. 注意事項

Oliveラップでは、資金動向や市場動向等によって上記のような運用ができない場合があります。

本資料は、SGICから提供を受けた情報などを基にFOLIOが作成したものです。本資料にはFOLIOのサービスと商品についての情報を含みますが、お客様の投資目的、財務状況、資金力にかかわらず、情報の提供のみを目的とするものであり、金融商品の勧誘、取引の推奨、売買の提案を意図したものではありません。また、本資料はFOLIOが客観的で信頼できると思われる情報にもとづいて作成したものですが、FOLIOは、本資料が提供する情報、分析、予測等の正確性、確実性、完全性、安全性等について一切の保証をしません。FOLIOは、本資料を参考にした投資勧誘が将来の利益あるいは損失の回避を保証・示唆するものではありません。また、提供された情報等に起因して、お客様が損失を被った場合でも、FOLIOは一切の責任を負いません。

株式会社FOLIO
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2983号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 資産運用業協会

2026.06